

# 令和3年度 岡野小学校学校経営方針

丹波篠山市立岡野小学校

## 1 学校教育目標

確かな学力 と 豊かな心 をもった子の育成

～ 学び合い 育ち合い ～

## 2 学校経営の基本

- (1) 学校施設の安全管理の徹底、登下校の安全対策の充実を図り、安全・安心な学校づくりを一層進める。
- (2) 日々、教職員一人一人が児童とのふれあいを大切にし、児童の良さや特性、課題等を十分に把握し、心通い合う学級づくり・学校づくりを進める。
- (3) 様々な方法により児童の内面理解に努め、いじめ等の問題行動を早期に発見し、保護者との連携を図りながら、真の解決を図る。
- (4) 児童一人一人の個性や特性の理解に努め、児童がわかる喜びを実感できるよう、授業の工夫改善を図る。
- (5) 様々な人たちとの出会いや交流の機会を設け、児童が新たな気づきや発見ができるようにする。(未来への夢や希望を抱く、人への関わり方について学ぶ)
- (6) 地域素材や人材を活用してふるさと教育を推進し、郷土を愛する心を育てる。

## 3 目指す児童像

一生懸命学ぶ子	<ul style="list-style-type: none"><li>・人の話に耳を傾け、話を最後までしっかり聴ける児童を育てる。</li><li>・意欲的に学習に取り組み、積極的に自分の意見を発表できる児童を育成する。</li><li>・自分の夢や目標をもち、その実現に向けて精一杯努力する児童を育てる。</li></ul>
豊かな心をもった子	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分のことを大切にするとともに、友だちや周りの人たちの気持ちや思いを大切にして行動できる児童を育成する。</li><li>・いじめを許さない心をもった児童を育てる。</li><li>・様々なことに挑戦しようとする気持ちをもった児童を育てる。</li></ul>
明るく元気に活動する子	<ul style="list-style-type: none"><li>・運動に親しみ、明るく元気に活動する児童を育てる。</li><li>・様々な場面で、自ら進んで自然にあいさつができる児童を育成する。</li></ul>

## 4 児童会『岡野っ子憲法』の活用 平成4(1992)年度制定

- いつも元気にあいさつをしよう
- 身のまわりを美しくしよう
- やさしい気持ちを持ち、みんな仲良くしよう

## 5 目指す学校像

### (1)子どもたちは → 楽しい学校

(楽しい授業・わかる授業を展開し、学ぶ喜びを実感させる。自己実現が図れ、自己有用感がもてる。)

### (2)保護者からは → 通わせたい学校

(安全・安心な学校をつくり、確かな学力の定着と豊かな心、健やかな体を育成する。)

### (3)地域からは → 信頼される学校

(地域と連携した授業や学校行事を推進し、郷土愛を育成する。学校の説明責任を果たす。)

### (4)教職員からは → やりがいのある学校

(新たな取組に挑戦し、教職員の協働、組織ワークにより目標を達成する。)

## 6 本年度の重点目標

### (1) 豊かな人間関係や人権感覚の育成に努め、安全安心な学校づくりを推進する。

- ・ 事故や怪我が起こらない安全な学校づくりの推進
- ・ いじめや体罰を許さない安心できる学校づくりの推進
- ・ 自尊感情、自己肯定感を育てる道徳教育の充実、推進
- ・ 児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導・合理的配慮ができる特別支援教育の充実、推進
- ・ 多文化共生教育の充実
- ・ 感染症予防を含めた健康教育の推進

### (2) 言語活動を充実し、確かな学力の定着を図る。

- ・ 基礎的基本的な知識・技能の確実な習得とそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成
- ・ カリキュラム・マネジメントの確立と「学びに向かう力・人間性」を育む授業の工夫改善
- ・ 学力の課題把握による個に応じたきめ細やかな学習指導の推進
- ・ ことばの力を高め、主体的に学ぶ合う学習指導の充実
- ・ ICTを適切に活用した学習活動の推進と情報活用能力の育成

### (3) 生活習慣の定着と教育環境の充実

- ・ 「岡野っ子憲法」に則った「岡野っ子のやくそく」の定着
- ・ 自分で考え行動する児童の育成、思いやりの心の育成
- ・ 保護者や関係機関等との連携
- ・ 児童と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現

### (4) 家庭や地域との連携を深め、「ふるさと岡野」を誇りに思う態度を育む。

- ・ 地域の人材や教材を活用した食育、ふるさと教育の推進
- ・ 地域に開かれた信頼される学校づくり、コミュニティ・スクールの推進充実
- ・ 幼小中のなめらかな接続のための連携の充実